

静岡県博物館協会会報

No.84

# 静冈の博物館



MOA美術館

静岡県博物館協会

## 令和元年度 第1回講習会 資料燻蒸の実際と注意点

日時：令和元年10月30日（水） 10：00～18：30

参加者：静岡県博物館協会21名、神奈川博物館協会10名

日程：10：00 集合（三島駅）・出発（バス）

12：45 視察 関東港業横浜営業所（横浜市金沢区）

14：00 講習会 神奈川県立博物館（横浜市）

16：30 解散（三島駅）

### 内容：

近年は、博物館施設での環境保全を進めるに当たり、IPM（総合的有害生物管理）という考え方に基づくことが奨励されています。IPMは本来、薬剤を用いた殺虫や殺菌を否定するものではなく、薬剤に頼らないあらゆる方策を施した上での最終手段として、最適化した形での必要最低限の使用を謳っています。この講習会では、最新の燻蒸設備を見学するとともに、博物館業務に欠かせない燻蒸を効果的かつ安全に実施するために、燻蒸業務を発注する側である私たちが留意すべき点について学びました。

最初に、関東港業横浜営業所において、燻蒸処理施設を視察しました。この営業所は横浜港の最南部、東京湾に面した工場地帯の中に立地しています。付近に人家は無く、周辺の安全が確保できる場所にあります。博物館施設内で燻蒸を実施する場合、館内に燻蒸庫が無い館は、燻蒸とは別の目的で作られた部屋の一角を使用して被覆燻蒸を行うか、収蔵庫や展示室などの部屋全体をまるごと燻蒸しているのではないかと思います。その際、燻蒸の薬剤が漏れないように、業者が嚴重に目張りや養生をしますが、燻蒸庫での燻蒸ならば、その度ごとに目張り等をする手間が不要となり、その分の経費も安く抑えることができます。また、燻蒸専用につくられていない部屋での燻蒸は、思いもよらぬ小さな隙間からガスが漏れることもあり、実際に私もヒヤリとした経験があります。その点、燻蒸を目的に作られた燻蒸庫はガス漏れの心配はほとんどなく、より安全性が高いと言えます。さらに、燻蒸のための特別な休館日を設定しなくて良いのも、大きな魅力です。デメリットとしては、燻蒸したい文化財（資料・作品）を燻蒸庫へ搬入・搬出する手間や輸送費がかかることが挙げられます。また、文化財を動かすことによる破損リスクや、施工中の地震・津波などによる災害リスクも考えられます。リスクに備えて保険に加入すれば、費用の面でのメリットは少なくなります。対象とする文化財や各館の実情にもよりますが、燻蒸の実施方法を検討する際には、このような専用の燻蒸庫の利用も選択肢としてあり得ると感じました。

次に、私たちは神奈川県立博物館へと移動し、お二人の講師をお迎えしてお話をうかがいました。今回の講習会は神奈川県博物館協会と共同での開催ということで、神奈川県博物館協会の会員の方々と一緒に聴講しました。

公益財団法人文化財虫菌害研究所（文虫研）の岩田泰幸氏からは、「文化財用燻蒸剤の特徴とその取扱の注意点」と題し、燻蒸剤とその他の薬剤の違い、文化財用の燻蒸剤とその他の燻蒸剤の違い、文化財用燻蒸剤の使用上の注意点、以上の3点についてのお話をいただきました。

文化財用燻蒸剤の特徴としては、施工によって対象の文化財が変質しないことだけでなく、人体・環境への影響もできるだけ少ないこと、爆発性がほとんどないなどの安全に施工できるものであることが挙げられ、それらの条件をすべて満たす燻蒸剤は現在のところ存在せず、文虫研が認定している三種類の文化財用燻蒸剤もオールマイティではないとのことでした。燻蒸剤の選択をはじめ、仕様書の作成にあたって

は、発注者である私たちが、燻蒸の対象となる文化財の材質を把握し、薬剤の特性や実作業に際しての留意点を十分に理解した上で行う必要があります。

東海埠頭株式会社防除部の森由行氏からは「文化財燻蒸の実務と作業の注意点」と題して、実際に燻蒸を施工する際に、どのようなことに注意して実施しているのかについてお話いただきました。東海埠頭株式会社は静岡市清水区に所在する業者であり、当館もよくお世話になっておりますが、作業者の目線からの燻蒸の話を、講演というまとまった形でうかがうのは初めてでした。例えば、立入禁止の看板は、第三者が目にする場所には「危険」ではなく「作業中」と表示している理由については、「危険」と表示した場合には何が危険なのか確かめたくて近寄ってくる人もいるためであるとか、作業を二人で行うのは、一人が倒れた場合にもう一人が通報できるようにしているためであるとかなど、燻蒸実施中に私たちが目にする具体的な表示や行動などの裏付けの話もあり、興味深く拝聴しました。燻蒸施工時における突発的なトラブル・事故を無くすために、またそのような不測の事態が万が一起ってしまった場合にも備えて、施工業者は知識と経験をもとに注意深く作業を行っているということを知りました。

総括として、文化財の保存と安心・安全な燻蒸の施工のためには、発注する側と業者との間の信頼関係が大切であるというお話がありました。私たちは業者を信頼して業務をお願いしていますが、業者に頼り切るのではなく、共に理解し合いながら業務を進めていく必要があります。燻蒸を失敗させないために、私たち発注する側も燻蒸についての知識を持ち、受注した専門業者に任せきりにすることなく、適正に行われているかどうかを確認しながら業務を進めていくことが重要であるということを改めて認識しました。

(浜松市博物館 学芸員 佐野聖子)



## 令和元年度 第2回講習会 資料の取扱い 基本の確認と、こんな時はどうする？

日時：令和2年2月12日（水）13：30～15：00

場所：静岡県立美術館 講座室

講師：日本通運株式会社（豊泉直浩氏、鈴木路人氏、鈴木有香氏）

参加者：45名

日程：13：00 開場 受付開始

13：30 開会 スケジュール説明、講師紹介等

13：45 実習

- ・白薄葉紙を用いた紙紐の作り方
- ・箱内養生のための綿布団の作り方
- ・軸装資料の取扱い方
- ・資料を納めるための被せ箱の作り方

15：00 終了

終了後～ 企画展観覧（やなぎみわ展 神話機械）

### 内容：

資料の収集・保存、調査・研究、展示をする博物館では学芸員はもちろん資料に携わる人は適切な資料の取扱い方を習得している必要がある。そのため、今回のような講習は、自身のこれまでのやり方を振り返り、資料の取扱いを専門とする人から直接伝授で知識や技術を学べる絶好の機会である。その需要の大きさは、今回の参加者の数にも表れていると思われる。

本年度の講習では、日本通運株式会社の豊泉直浩氏、鈴木路人氏、鈴木有香氏が講師に招かれた。豊泉氏による取扱いに関する注意点等を確認した後、6～7人のグループを講師が2グループずつ指導するかたちでの講習であった。約1時間半という限られた時間の中ではあったが、白薄葉紙を用いた紙紐の作り方から始まり、上記4項目全てにおいて講師の実演による作業工程の確認と実践に多くの時間が充てられた。参加者は講師から説明を受けたことを整理し、講師からの注意点や指摘、助言を受けて積極的に作業に取り組んだ。

この講習に参加して得られたことは主に2つある。1つ目は、梱包材料の特性や役割を知るだけでなく、博物館で実際に用いられている梱包材料に実際に触れることで講師から学んだその特性や役割を実感できたことである。たとえば、白薄葉紙には破きやすい弱い方向と破きにくい強い方向があり、適当な大きさに破いて自由自在に包めるクッション材にもなれば引っ張っても破けにくい紙紐にもなる。1つの梱包材料に幅広い用途があることは初めて白薄葉紙を使ってみて分かったことである。

2つ目は、資料に極力負担をかけず傷つけないよう資料に応じた細やかな配慮を心がけ、手際よく作業していくことが適切な資料の取扱いにつながるということである。掛軸を桐箱から出し、掛けて納めるまでの過程でプロの手さばきをみた際には、手の位置や握り方、握力など手を動かすことだけでもいくつもの気配りがあり、代わりの効かない資料を搬送・展示するリスクに対してより意識を持つことができた。

資料の取扱いについてしっかりとしたスキルを身に付けるには、的確に手順を理解し、適切な行動をとることや、自身がどう動いて、道具を扱うか作業効率を上げる工夫、資料を出し入れし動かすときの安全面の確保など配慮する点がいくつもあることに気づかされ、資料の「取扱い」という言葉がどういうものを指すのか自身の考え方も変わる講習となった。

また、日ごろ博物館業務に携わる他館の人と顔を合わせることは少ないので、資料の梱包や箱作りの活動を通して他館の人と交流ができたことも貴重な機会となった。

この場を借りて、指導してくださった講師の皆様と講習を企画・運営してくださった皆様に感謝申し上げます。

(沼津市明治史料館 事務補助員 鈴木百合子)



# 静岡県博物館協会加盟館園 おもなイベント予定 (2020年4月～2020年9月)

※各館園提出の原稿によるものです。詳細については各館園におたずねください。

【東部】

博物館名・所在地・電話番号ほか	展覧会・行事・その他
<b>下田開国博物館</b> 〒415-0024 下田市4-8-13 TEL 0558-23-2500 FAX 0558-23-3288 <a href="http://www.shimoda-museum.jp">http://www.shimoda-museum.jp</a>	企画展＝～10月末「ペリー日本遠征記の世界」1854年、日本の開国を迫り訪れたペリー艦隊の遠征記録には、二百数十枚のカラー挿絵が掲載されています。その中の特徴的な、また珍しい図柄と関連する記録を抜き出し展示しています。
<b>伊豆の長八美術館</b> 〒410-3611 賀茂郡松崎町松崎23 TEL 0558-42-2540 FAX 0568-42-2573 <a href="http://www.izu-matsuzaki.com">http://www.izu-matsuzaki.com</a>	企画展＝9/27～10/31「第21回一全国漆喰絵コンクール」
<b>上原美術館</b> 〒413-0715 下田市宇土金341番地 TEL 0558-28-1228 FAX 0558-28-1227 <a href="http://www.uehara-museum.or.jp">www.uehara-museum.or.jp</a>	企画展＝4/25～9/27「上原コレクション名品選3—新収蔵・二天像と上原美術館のみほとけ」
<b>黄金崎クリスタルパーク</b> 〒410-3501 賀茂郡西伊豆町字久須2204-3 TEL 0558-55-1515 FAX 0558-55-1522 <a href="http://www.kuripa.co.jp/">http://www.kuripa.co.jp/</a>	企画展＝～6/17「新収蔵作品による現代ガラス」展
<b>池田20世紀美術館</b> 〒414-0052 伊東市十足614 TEL 0557-45-2211 FAX 0557-45-2212 <a href="https://www.nichireki.co.jp/ikedai/">https://www.nichireki.co.jp/ikedai/</a>	企画展＝～6/23「開館45周年記念 前田えみ子の世界展 大地と宇宙の躍動・歓喜」、6/25～10/13「開館45周年記念 小川忠博展（仮称）」
<b>かんなみ仏の里美術館</b> 〒419-0101 田方郡函南町桑原89-1 TEL 055-948-9330 FAX 055-978-0894 <a href="http://www.kannami-museum.jp/">http://www.kannami-museum.jp/</a>	夏季特別展示＝8/1～9/30「大竹千体観音像」、県民の日協賛事業＝8/18仏像展示室無料開放 ※予定のため変更となる場合があります
<b>公益財団法人国際文化交友会 月光天文台</b> 〒419-0101 田方郡函南町桑原1308-222 TEL 055-979-1428 FAX 055-979-1428 <a href="http://www.gekkou.or.jp">http://www.gekkou.or.jp</a>	プラネタリウム春番組：～5/31「宇宙の旅」 特別展：～5/31「世界のカレンダー2020」、～5/31「地球史でたどる伊豆半島」 定例観望会：4/11、5/16 昼間の金星観望会：4/18、4/19
<b>三島市郷土資料館</b> 〒411-0036 三島市一番町19-3 楽寿園内 TEL 055-971-8228 FAX 055-971-6045 <a href="http://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo">http://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo</a>	企画展＝4/18～5/10・5/23～6/28「浮世絵でたどる東海道五十三次と四つ辻のまち三島」（展示替え有）、7/11～7/26「三島宿のジオと歴史—写真とマンガで見る—（仮）」、8/1～8/30「収蔵美術品展」
<b>富士サファリパーク</b> 〒410-1231 静岡県裾野市須山字藤原2255-27 TEL 055-998-1311 FAX 055-998-1316 <a href="https://www.fujisafari.co.jp/">https://www.fujisafari.co.jp/</a>	～11月末 サファリゾーンの外周フェンス沿いを歩きながら動物たちの観察、エサあげ体験をすることができる「ウォーキングサファリ」開催！赤ちゃん情報・ミナミシロサイの赤ちゃん、4月頃公開予定！！
<b>裾野市立富士山資料館</b> 〒410-1231 裾野市須山2255-39 TEL/FAX 055-998-1325 <a href="http://www.city.susono.shizuoka.jp/kanko/6/3/3520.html">http://www.city.susono.shizuoka.jp/kanko/6/3/3520.html</a>	企画展＝4/18～6/28「ふるさと富士山芸術展」、特別展＝7/26～11/1「須山口富士山信仰と登山者の動き」、講座＝5/24「初夏の野鳥観察会」、7/12「夏の野草観察会」
<b>ベルナル・ビュフェ美術館</b> 〒411-0931 長泉町東野クレマチスの丘515-57 TEL 055-986-1300 FAX 055-987-5511 <a href="https://www.clematis-no-oka.co.jp/buffet-museum/">https://www.clematis-no-oka.co.jp/buffet-museum/</a>	企画展＝～10/4「没後20年 ベルナル・ビュフェ 或る画家の航海」、7/18～12/20「丸木スマ展—わじゃ、今が花よ（仮）」

博物館名・所在地・電話番号ほか	展覧会・行事・その他
<b>沼津市歴史民俗資料館</b> 〒410-0822 沼津市下香貫島郷2802-1 TEL 055-932-6266 FAX 055-934-2436 <a href="http://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/shisetsu/rekishiminzoku">http://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/shisetsu/rekishiminzoku</a>	企画展＝～5/6「そだてる漁業—養殖をめぐる沼津の一世紀～国指定漁具コレクション養殖用具～」
<b>奇石博物館</b> 〒418-0111 富士宮市山宮3670 TEL 0544-58-3830 FAX 0544-58-5061 <a href="http://www.kiseki-jp.com">http://www.kiseki-jp.com</a>	企画展＝4/18～令和3年3/31「マンガ・アニメに出てくる石たち」、特別展＝7/18～8/30「第15回 私の宝石クラフト作品展」、観察会＝5/17「天母山の自然観察会」、観察会＝5/30「富士川河原の石ころ観察会」、体験会＝6/13「ロックバルンシング体験」、6/27「火打石で火おこし体験」
<b>静岡市東海道広重美術館</b> 〒421-3103 静岡市清水区由比297-1 TEL 054-375-4454 FAX 054-375-5321 <a href="http://tokaido-hiroshige.jp/">http://tokaido-hiroshige.jp/</a>	企画展＝～7/5「これも五十三次～広重が描いた三つの東海道～」、7/7～9/6「うきよえ探険隊！～浮世絵に描かれた〇〇を探せ～」、9/8～11/15「二大街道～東海道と中山道～」
<b>東海大学海洋科学博物館</b> 〒424-8620 静岡市清水区三保2389 TEL 054-334-2385 FAX 054-335-7095 <a href="http://www.umi.muse-tokai.jp">http://www.umi.muse-tokai.jp</a>	行事＝4/6～5/6「変わりコイのぼり掲揚」、4/29～5/6「裏も表もない水族館」、8/1～16「ふれてみてサメと海の生きものたち」、8/8～16・22・23「ナイトアクアリウム」
<b>東海大学自然史博物館</b> 〒424-8620 静岡市清水区三保2389 TEL 054-334-2385 FAX 054-335-7095 <a href="http://www.sizen.muse-tokai.jp">http://www.sizen.muse-tokai.jp</a>	行事＝4/6～5/6「変わりコイのぼり掲揚」、4/29～5/6「化石クリーニング」、5/3～5「恐竜ナイトツアー」、7/25・26、8/1・2「恐竜ナイトツアー」、8/10～17「化石クリーニング」
<b>静岡県立美術館</b> 〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 TEL 054-263-5755 FAX 054-263-5742 <a href="http://spsmoa.shizuoka.shizuoka.jp/">spsmoa.shizuoka.shizuoka.jp/</a>	企画展＝4/11～5/31「きたれ、バウハウス—造形教育の基礎」、6/13～6/28「美の競演—静岡県美名品展」、7/11～9/6「みんなのミュシャ」、9/19～11/8「富野由悠季の世界」
<b>静岡市立登呂博物館</b> 〒422-8033 静岡市駿河区登呂5丁目10-5 TEL 054-285-0476 FAX 054-287-1466 <a href="https://www.shizuoka-toromuseum.jp">https://www.shizuoka-toromuseum.jp</a>	企画展＝～6/14「お米づくり、はじめました。—静岡市の弥生時代—」、7/4～9/13「実測」
<b>静岡市立芹沢銈介美術館</b> 〒422-8033 静岡市駿河区登呂5丁目10-5 TEL 054-282-5522 FAX 054-282-5510 <a href="https://www.seribi.jp/">https://www.seribi.jp/</a>	企画展＝4/5～7/5「セリザワ・デザイナー—和と洋の架け橋—」、7/21～11/23「芹沢銈介—模様を巡る88年の旅—」
<b>ふじのくに地球環境史ミュージアム</b> 〒422-8017 静岡市駿河区大谷5762 TEL 054-260-7111 FAX 054-238-5870 <a href="http://www.fujimu100.jp">http://www.fujimu100.jp</a>	企画展＝～4/5「大絶滅—地球環境の変遷と生物の栄枯盛衰—」、4/25～8/23「消えゆく隣人—静岡県レッドリストの絶滅危惧種—」5/23～8/23「新収藏品展」、9/5～11/8「県の鳥 サンコウチョウ展」、9/5～11/8「第3回ふじミュージアム写真展『四季折々のしずおかの生き物』」
<b>静岡市美術館</b> 〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F TEL 054-273-1515 FAX 054-273-1518 <a href="mailto:info@shizubi.jp">info@shizubi.jp</a>	企画展＝4/11～5/24「日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本、日本とオルリク めぐるジャポニズム」、6/6～7/19「静岡市美術館開館10周年記念 東海道的美 駿河への旅」、8/1～9/22「ショパン—200年の肖像」
<b>静岡市文化財資料館</b> 〒420-0868 静岡市葵区宮ヶ崎102 (静岡浅間神社境内) TEL/FAX 054-245-3500 <a href="http://www.city-shizuoka.jp/000-002430.html">http://www.city-shizuoka.jp/000-002430.html</a>	ミニ企画展＝8/29～9/27「浅間神社平成・令和の大改修」関係（予定）、その他期間は収藏品展
<b>静岡科学館る・く・る</b> 〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25 エスパティオビル8～10階 TEL 054-284-6960 FAX 054-284-6988 <a href="https://www.rukuru.jp/">https://www.rukuru.jp/</a>	4/18～19「サイエンスショー ドレミで遊ぼう♪音・科・楽」、5/2～6「スタッフ—押し！GW工作&実験まつり」、8/8「る・く・る de オープン・ラボ」、8/14～16「サイエンスフェスティバル in る・く・る2020」

博物館名・所在地・電話番号ほか	展覧会・行事・その他
<b>藤枝市郷土博物館・文学館</b> 〒426-0014 藤枝市若王子500 TEL 054-645-1100 FAX 054-644-8514 muse@city.fujieda.shizuoka.jp	企画展・特別展＝4/5～5/31「昭和の東京オリンピックと藤枝」「小川国夫文学展」、6/6～8/2「さようなら軽便50年～日本一の軽便展」「原信太郎鉄道模型展」、8/7～9/27「ミニチュアの世界で遊ぼう！ドールハウス展」
<b>ふじのくに茶の都ミュージアム</b> 〒428-0034 島田市金谷富士見町3053-2 TEL 0547-46-5588 FAX 0547-46-5007 https://tea-museum.jp/	企画展＝～7/5「煎茶の楽しみ～江戸時代から現代までの多彩な「うつわ」～」、7月下旬～10月上「浮世絵・蘭字からみるお茶の世界（仮）」
<b>資生堂アートハウス</b> 〒436-0025 掛川市下俣751-1 TEL 0537-23-6122 FAX 0537-23-6315 https://corp.shiseido.com/art-house/jp/	企画展＝前期4/28～6/14、後期6/19～8/2（予定）「館蔵漆芸名品展一人間国宝の作品を中心に」（仮）
<b>掛川市吉岡彌生記念館</b> 〒437-1434 掛川市下土方474 TEL 0537-74-5566 FAX 0537-74-4841 http://yayoi-kinenkan.jp/	常設展＝～12/6「吉岡彌生が残したメッセージ」、講演会・イベント等＝6/13「第1回健康セミナー・発達障害について」、8/8「夏休み親子医学講座・自分の細胞を見てみましょう」、8/23「夏のイベントデー」、9/12「第2回健康セミナー・スキンケアについて」
<b>掛川市二の丸美術館</b> 〒436-0079 掛川市掛川1142-1 TEL 0537-62-2061 FAX 0537-62-2062	展覧会＝二の丸美術館名品選 4/1～5/24「蒔絵・彫金・細密工芸品」、5/29～7/12「近代日本画展」、7/23～10/11「Cool kakegawa 掛川の歴史と美一藩主の美意識と掛川宿一」
<b>掛川市ステンドグラス美術館</b> 〒436-0079 掛川市掛川1140-1 TEL 0537-29-5680 FAX 0537-29-5720 http://k-kousya.or.jp/stainedglass/	常設展示＝4/1～3/31 19世紀イギリスのステンドグラスを中心としたコレクションを展示する日本で初めての、そして世界的に見ても、大変珍しい美術館です。
<b>袋井市歴史文化館</b> 〒437-1192 袋井市浅名1028（浅羽支所2階） TEL 0538-23-9269 FAX 0538-23-9230 http://fukuroi-rekishi.com	所蔵品展＝～5/8「寄贈品展一加藤家コレクションを中心に」 明治初期の医療関係資料を中心に書画も併せて展示。
<b>磐田市香りの博物館</b> 〒438-0821 磐田市立野2019-15 TEL 0538-36-8891 FAX 0538-39-0711 http://www.iwata-kaori.jp	企画展＝4/4～6/21「しあわせのリカちゃん展～ときめきの香り～」、7/11～9/22「とびだす絵本展（仮称）」
<b>公益財団法人 平野美術館</b> 〒430-0942 浜松市中区元浜町166 TEL 053-474-0811 FAX 053-412-1808 info@hirano-museum.jp	特別展＝4/4～5/31「うるわしの美人画づくし～培広庵コレクション～」、企画展＝6/13～8/10「富士へのあこがれ（仮）」、館蔵品展＝8/22～10/11「どうぶつ大集合（仮）」
<b>浜松市博物館</b> 〒432-8018 浜松市中区舘塚四丁目22-1 TEL 053-586-2208 https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/	～5/10テーマ展「めでたいかたち」、5/1～5/6「はまはくまつり」、5/23～7/12テーマ展「まちの盛り場」、8/1～8/23「夏休み体験館」7/25～9/27「あかりの道具」
<b>浜松市立賀茂真淵記念館</b> 〒432-8036 浜松市中区東伊場一丁目22-2 TEL/ FAX 053-456-8050 http://www.mabuchi-kinenkan.jp	平常展＝5/28～9/27「賀茂真淵と近世国学者の国語研究」、親子でならい教室＝7/25～26、小中学生のための学習展＝8/4～23、アカデミー講座＝6/3～古事記について（全4講座）、歴史文化講座＝9/25～飛鳥の政変と王位継承他（全5講座）
<b>浜名湖体験学習施設 ウォット</b> 〒431-0214 浜松市西区舞阪町弁天島5005-3 TEL 053-592-2880 FAX 053-592-1611 https://ulotto.entetsuassist-dms.com	春季特別展示＝3/17～5/10「へんちくりんすいぞくかん～ウォット春のへんまつり～」